

工業化学研究会 第6回定例会

ノーベル賞セミナー 2008

－教養として知るノーベル賞受賞業績－

主催 工業化学研究会

日 時 平成20年11月28日(金) 16時30分～17時50分

会 場 東京ビッグサイト会議棟102号室(東京都江東区有明3-21-1「全科展」会場内)

[交通] ゆりかもめ 国際展示場正門駅 下車徒歩／りんかい線 国際展示場駅 下車徒歩

内 容 2008年はノーベル物理学賞において南部陽一郎・小林 誠・益川敏英の諸先生方が、ノーベル化学賞において下村 脩先生が受賞の栄誉に輝くという、日本にとって大変喜ばしい年となりました。それぞれのご業績についてはすでにテレビや新聞等で報道されていますが、当該分野の専門家から、私たちにとってわかりやすい解説を直接聞く機会はほとんどありません。本セミナーではマスコミ報道にとどまらず、当該分野の歴史的経緯や受賞業績の背景、学術的意義、そして期待される応用展開と将来展望について、科学技術に携わるすべての方々が教養的知識として得られることを目指します。

解 説 司会：近藤 俊夫(化学工業日報社)

1. ノーベル化学賞の受賞業績：緑色蛍光タンパク質GFPの発見と開発
(電気通信大学 量子・物質工学科 准教授) 平 野 誉
2. ノーベル物理学賞の受賞業績：
 - 1) 粒子物理学と核物理学における自発的対称性の破れの発見
 - 2) クォークが自然界に少なくとも三代以上ある事を予言する、対称性の破れの起源の発見
(東京大学大学院総合文化研究科 素粒子論研究室 教授) 加 藤 光 裕

参加費 無料(本セミナーにご参加の方は、全科展入場料2,000円が無料となります)。

申込先 「工業化学研究会 11/28 定例会出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail を明記のうえ、e-mail (hokura@chemistry.or.jp) にてお申込みください。

[全日本科学機器展 in 東京 2008] <http://www.sis-tokyo.jp/opening.htm>

主催 日本科学機器団体連合会 ・ フジサンケイ ビジネスアイ

会期 平成20年11月26日(水)～28日(金) 10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-21-1)

理化学機器・実験器具・試験機器・分析機器・先端製造機器および装置・情報・システム関連等の各社ならびに大学・公的研究機関が一堂に会するアジア最大規模の展示会で、参加者はのべ50,000人(主催者発表)にのびります。